

平成23年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472601937	事業の開始年月日	平成15年5月1日	
		指定年月日	平成15年5月1日	
法人名	社会福祉法人 幸会			
事業所名	グループホーム 幸園			
所在地	(252-0302) 神奈川県 相模原市 南区 上鶴間 6 - 1 - 3 0			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護 レ 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	27 名	
		ユニット数	3 ユニット	
自己評価作成日	平成23年11月5日	評価結果 市町村受理日	平成24年2月13日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1472601937&SCD=320
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>高齢になって自らの意思では判断できない状況になった方々が、集団生活を余儀なくされた状況を思うとできるだけ本人の思うがままの生活を支援していきたいと考えます。当ホームでは、その人らしく穏やかに生活できる環境づくり。そのために〔止めない介護〕を目指します。というスローガンを掲げて支援を行っております。</p>
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成23年12月17日	評価機関 評価決定日	平成24年1月28日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>社会福祉法人幸会の運営するグループホーム幸園は、小田急線相模大野駅または小田急江ノ島線東林間駅から徒歩約10～8分の、3階部分が2車線道路と面しグループホームへの入口となっている5階建てビルの3階にある3ユニットの事業所です。 1階部分と面した道路は小川沿いにある小路で、住宅地と隣接した環境にあります。2車線の道路を挟んで向い側には同一法人の運営する特別養護老人ホーム幸園があります。 <優れている点> 「止めない介護」という理念に沿ったサービス提供行っています。利用者の意向を尊重した介護を行っているためか、楽しそうに穏やかに過ごされている様子が見られました。行事・新年会・誕生会など楽しく暮らせる様々な活動を行っています。ご家族へは具体的に生活の様子がわかるよう、毎月5項目(排泄、外出など)別にその様子を書いて報告しています。 3ユニットそれぞれでサービス提供の自主性を重んじた運営をしているため、利用者の特性に応じたきめ細かい対応が実践されています。 <工夫点> 東日本大震災もあって、防災面で月1回の自主的避難訓練や防災用品の整備、防災係の設置などきめ細かい対策実施を行っています。各居室入り口には緊急時避難完了を記して確認ができるようにチョークが用意されています。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム 幸園
ユニット名	なでしこ

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	その人らしく穏やかに生活出来る環境づくり。そのために「止めない介護」をホームの理念としています。本人の思いや行動を止められることは混乱や不安を増大させてしまうと考え、できる限り止めない対応で入所者の安定に努めています。	毎年の事業計画にホーム理念を冒頭に記載して確認し、実践につながるようになっています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	開かれたホームを目指してボランティアの導入に努めております。また、日々の散歩、買い物でご近所と顔なじみになりご挨拶、お話ができるようになってきております。	傾聴、作り物手伝い、歌のボランティアの方がいます。徒歩10分ほどのところにスーパーがあり、食材の選択など利用者にも手伝ってもらっています。自治会との関係も会長さんが推進会議メンバーで良好な関係を保っています。近所の方が散歩の時に声を掛けてくれます。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所として外部に向けての活動は進みませんが、ホーム見学者の方には認知症対応や相談に応じております。	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームのありのままの姿を報告し、介護の現場を理解していただいております。介護保険課、自治会、民生委員、家族の代表の方々からのご意見、情報を頂きながらサービス向上に活かせるよう努めております。	年4回開催しています。家族代表は各ユニットから1名出ており、2年毎に交代しています。活動報告、入所者の状況、行事、研修参加、事故報告などが主たる議題となっています。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進委員会に介護保険課からの出席を頂いておりますのでホームの実情は理解いただいております。又、依頼により実践者研修生の受け入れを行っております。	市主催の施設の研修の受け入れは1～3名。包括センターとは包括主催の介護者教室で認知症の話しを管理者が行ったりして、緊密な関係です。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会において具体的事項を話し合い、各ユニットで職員に周知しております。また、事業所理念で「止めない介護」を掲げており、多動時以外は施錠しない等の取り組みを行っております。	3ヶ月に1回身体拘束についての勉強会を開き、各ユニットから具体的事例を持ち寄り、話し合いをしています。言葉の拘束にも注意を払い、利用者の思いや行動を止めたり、否定しないで、受け止めるような介護をしています。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束委員会において虐待についても同時に話し合っております。特に言葉のかけ方に注意するよう努めております。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度のパンフレットを受付にしております。必要と思われる家族に対しては制度の説明を行い、地域包括支援センターへの相談を勧めております。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学時から料金説明、受診等の対応、共同生活の様子など説明を行っております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時のコミュニケーションを大事にしており、会話の中から要望等を話していただいたり、家族会や行事参加のお茶会を話し合いの場としています。	家族会は年1回なので来訪時や推進会議時、行事（年4回）での意見聴取が主になっています。第三者評価の家族アンケートも運営への参考としています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議において職員からの要望、意見を聞くようにしております。また、管理者で解決できない事項は代表者に伝え少しでも改善されるよう努めています。	普段のミーティングや月1回のユニット毎の会議が職員意見・提案を聞く機会になっています。	職員の自己評価やマニュアル改訂などのテーマを決めての意見・提案出しの機会をもうける工夫も期待されます。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の勤務状態はほぼ把握されており、職員に各種資格の取得を勧め各人の資質向上を促しております。	/	/
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内、市高齢協主催の研修に参加を促しスキルアップに努めております。	/	/
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市内グループホーム部会を年4回開催し事例検討、情報交換、施設見学、研修等を実施しております。	/	/
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	施設見学をされたときから、家族の方からの情報を聞きながら本人の思い、不安なことなどをさりげなく聞くようにしております。又入所されている方から直接日々の様子を聞いたり、一緒にお茶を飲んだりして安心感を抱いていただけるよう努めております。	/	/

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学の時から介護されている方の苦勞や悩みを聞き、当ホームでできること、また、実施して欲しいことなど具体的に話し合っていけるよう努めております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス開始時は本人は不安と戸惑いの連続と考え、家族や友人の協力を得て面会を多くしていただいたり外出の機会を多くお願いし、ここにいても安心だと思っただけよう努めております。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人が出来ることや得意なことなどをゆっくり聞き出したり、一緒に生活する中で見出ししたりして、徐々にご本人の力が発揮でき他の方々と楽しく共同生活が出来るよう職員は努めております。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族を含めた介護と考えております。面会時にはお互いに状況報告を行い常に状態を共有できるようコミュニケーションを心がけています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近隣の方の入所が多いので、在宅で利用していた併設のデイサービスの催事の際は参加させていただいております。又、友人等が訪問して居室、フロアで談笑する光景がよく見受けられます。	併設のデイサービスの催しに参加したり、昔の知人に会ったり、以前からの友人が訪ねて来たりしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の性格、理解の程度などを把握しレクリエーション、体操、散歩等で諍い、孤立者が出ないように配慮しています。利用者同士は、相談する方、相談を受ける方、お世話をする方などそれぞれが自らのできる事を出し合って生活しております。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	法人特別養護老人ホームへ入所になったり、入院になった方には面会を心がけ、退所になられた方にもその後の様子をお聞きしたりしております。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ホームの理念に、本人の思いや行動を止めないとあります。どんな思いがあってもこの行動に出ているのか、ただ行動を制止するのではなく、よく観察し職員間で考えていくよう努めております。	行動やしぐさから、何をして欲しいのか、どんな思いでいるのか等本人の意向を把握し、出来るだけ受け止めています。荷物をまとめて出て行こうとしている場合は、止めないで一緒に出掛け、納得できるまで一緒の行動をしています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の事前調査で把握を行っていますが、入所後も本人との会話の中からやご家族との話の中からその人らしさを把握するように努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の状態を確認しながら、今日できることを実施できるよう心がけています。又それらの状態は職員間で共有できるよう記録しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご家族とは面会時に意見、要望、本人の希望等を聞くようにしています。それらを把握し担当職員が中心になり職員全員参加でケア会議を行ない介護計画を作成しております。</p>	<p>介護計画を作成する前にミーティングを兼ねたケース検討会を開き、職員全員でプランの検討をしています。家族からは来訪時に本人からも予め要望等を聞いておきプランに反映します。3ヶ月毎に評価をし、プラン対応チェックし、介護計画の作り直しをしています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>生活状況表に本人の行動、表情、感情などを記録します。職員は必ず目を通し日々の様子を把握しています。それらを基に介護計画の見直しを行っております。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人やご家族の状態、状況に合わせて訪問診療、訪問歯科、ボランティア等個別支援に努めています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>毎月ボランティアの訪問をお願いし趣味活動、傾聴の実施を行い地域の方々との交流を深めております。又自治会の運動会、文化祭への出品など地域へ出て行く機会を大切にしています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所前のかかりつけ医を継続しております。身体状況の変化があった場合には連絡表で報告しております。受診が困難になった時期には訪問診療を勧めております。</p>	<p>今までのかかりつけ医に入所後も家族対応で受診してもらっています。緊急時は家族と一緒に職員が対応しています。受診できない利用者には訪問診療をしてもらっています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の体調の変化や行動の変化など職員の観察状況が正確に伝わるよう身体状況表を提出しております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は必ず面会を行い状況把握に努め、家族と今後について、又、ソーシャルワーカーとも退院後について連絡を取るよう努めております。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に看取りは行っていないことを説明、了承を頂いております。重度化に備え法人の特別養護老人ホームへの申し込みを促しており、事業所で対応できる時期についてはその都度、医師家族を交えて話し合っております。	重度化した場合は管理者、担当責任者、家族と話し合い、主治医の意見を聞き、方針を決めています。予測される場合は早めの方針を話し合っています。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	日々の生活の中で転倒、急変など発生した場合についてユニット会議で話し合いをしおりほぼ全員が対応できる状態です。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災、地震等の避難訓練を毎月1回実施しております。他事業所からの応援を得ての訓練も行ないます。食料、飲料水等の備蓄も少量ながらしております。	防災係を各ユニットにおいて対応しています。各ユニットにはヘルメットが常備されている他、防災用品はすぐに持ち出せるようバックバックされているユニットもあります。背の高い戸棚は倒壊防止支えがつけられ、東日本対震災の時に役に立っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	認知症介護の基本であるため、ユニット会議では日々の介護の中で言葉かけや行動に問題はないか、気づいたことを話し合い、常に原点に立ち返ることができるよう努めております。	毎月ユニット毎に職員全員参加で、言葉かけや、トイレでの対応の仕方での利用者のプライドを傷つけていないか、プライバシーを大切にしているか等の話し合いをし、対応に活かしています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	買い物に行きたい方、散歩に出たい方、台所に立ちたい方などさまざまな思いを行動や言葉で訴えていることを見逃さず、支援することを心がけております。自己決定が困難になってきた方には選択肢を少なくして決定できるよう働きかけております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の一日の行動日程は定めておりますが、その日の過ごし方は、入所の方が起こす訴えや行動で臨機応変に対応するようにしており、天気の良い日に散歩に出たり、買い物希望の方に同行したりしております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服装は本人が選べるよう声かけしながら行うことが多いですが、自分で選ぶことができる方もおります。また、パーマをかけるため家族と美容院に行かれたり、ウィッグをつけている方もおります。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その人ができることを把握し、野菜を切っていたり、食後の下膳、食器拭きを行っており、入所者も自分の出来ることがわかっていて、積極的に手伝っていただいております。	献立作りや調理は職員が行っているの、出来るだけ利用者の好みを取りいれています。食材を刻んだり、下膳等ができる利用者にも手伝ってもらっています。職員は介助をしながら、交代で一緒に食事をしていますが、食事中も会話をしながら、皆楽しそうにしていました。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取量、摂取状態などは個々の状況表に記録し、又、申し送りにて職員は把握するようにしております。おかゆの方、ミキサー食の方、パン食の方等それぞれの好み、状態に合わせて提供しております。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアへの声かけ、誘導を行い入床時の義歯洗浄を実施しております。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	本人の行動、しぐさで判断し誘導したり、時間で声かけ誘導したり個々に応じた対応を行っております。できるだけ布パンツ対応ができるよう努めております。	おおよそ2時間毎にトイレ誘導をしています。昼間はおむつは使用せず、リハビリパンツや布のパンツで自分でトイレでもらうようにしています。夜間のみおむつをしている利用者はいます。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘チェックを行い、できるだけ食べ物で排便できるよう、根菜を多くしたり、果物、ヨーグルトなどでジュースを作って提供したりしております。又、日々散歩、体操を実施し個々に応じた階段の昇り降りを行っております。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	週3回の入浴を基本とし、午後に行っているが本人の希望やタイミングにより午前になることもあります。入浴嫌いな方には声掛けを工夫したり、職員を変えたりして良いタイミングをつかめるよう努めております。	週3回は入浴してもらおうようにしていますが、入浴嫌いな利用者には無理強いせず、タイミングの良い時に入浴してもらっています。出来るだけ利用者の希望に沿っています。入浴剤も何種類か備えており、利用者の好みに合わせて使っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体力のない方、足の浮腫が見られる方等は日中に臥床していただいたり、フロアでの居眠り多い方はベッドに案内したり状況に応じて対応しております。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	配薬表を作り誤配薬がないようにしており、与薬時に再確認をしながら行っております。配薬時には処方箋を読み薬の理解をするようにしております。又、服薬等で変化が生じた時は主治医に連絡するようにしております。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の趣味などを把握しその人がいかに楽しんで過ごせるか話し合い、歌、踊り、外出、買い物等楽しみながら生活できるよう支援に努めております。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望又はその日の天候によって外出しておりますが、毎月行事担当が企画し外食、ドライブなどを実施しております。行事日にはご家族、ボランティアの方にも参加していただき繋がりを大切にしております。	外出の頻度はユニット毎に異なり、自立度の高い3階のユニットでは毎日散歩にでかけていますが、他のユニットでは食事の買い物と一緒にいたり、階段での上り下り運動をしています。毎月外食やドライブには家族と一緒に出掛けています。	各ユニットで毎日身体状況に合わせて、近隣に散歩に出かけたり、外出の機会を更に増やせる工夫も期待されます。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族より小遣い程度の金額を預かり、希望に応じて買い物ができるよう支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望により各居室に電話を取り付けることができます。自らかけられない方には、ホームの電話を使って取次ぎを行っております。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアーに植物を置き季節感を感じていただけるようにしております。また、温度、音量、照明などはこまめに調整を行い、穏やかに生活していただけるよう努めております。	東南角の居間は各ユニット共通で明るく過ごしやすいなっています。家具や戸棚の配置は各ユニットで異なっているため、違った雰囲気になっています。今の時期は加湿器が使用されています。オープンキッチンなので利用者の様子を見ながらの食事の用意ができます。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	座る席は決めていないため気のあった方同士で座れるようにしております。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時ご家族に説明し、馴染みのものを持参されるようお願いしています。家具類のほか、ご家族は自宅に咲いた花や本人のアルバムを持参されたりしています。	居室は8畳程度あり、室内に洗面台もあり、タンス・ソファなどなじみのものが置かれている他、入口には手づくりの表札や、緊急避難時完了をドアに記すためのチョークが常備されています。居室の採光はよく明るく清潔な雰囲気です。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリーになっており、手すりを取り付けております。トイレ、自身の居室がわかるよう掲示しております。		

事業所名	グループホーム 幸園
ユニット名	すみれ

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>その人らしく穏やかに生活出来る環境づくり。そのために「止めない介護」をホームの理念としています。本人の思いや行動を止められることは混乱や不安を増大させてしまうと考え、できる限り止めない対応で入所者の安定に努めています。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>開かれたホームを目指してボランティアの導入に努めております。また、日々の散歩、買い物でご近所と顔なじみになりご挨拶、お話ができるようになってきております。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>事業所として外部に向けての活動は進みませんが、ホーム見学者の方には認知症対応や相談に応じております。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>ホームのありのままの姿を報告し、介護の現場を理解していただいております。介護保険課、自治会、民生委員、家族の代表の方々からのご意見、情報を頂きながらサービス向上に活かせるよう努めております。</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>運営推進委員会に介護保険課からの出席を頂いておりますのでホームの実情は理解いただいております。又、依頼により実践者研修生の受け入れを行っております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束委員会において具体的事項を話し合い、各ユニットで職員に周知しております。また、事業所理念で「止めない介護」を掲げており、多動時以外は施錠しない等の取り組みを行っております。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束委員会において虐待についても同時に話し合っております。特に言葉のかけ方に注意するよう努めております。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見制度のパンフレットを受付にしております。必要と思われる家族に対しては制度の説明を行い、地域包括支援センターへの相談を勧めております。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>見学時から料金説明、受診等の対応、共同生活の様子など説明を行っております。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時のコミュニケーションを大事にしており、会話の中から要望等を話していただいたり、家族会や行事参加のお茶会を話し合いの場としています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議において職員からの要望、意見を聞くようにしております。また、管理者で解決できない事項は代表者に伝え少しでも改善されるよう努めていますが大きく反映されることは難しい面があります。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の勤務状態はほぼ把握されております。職員に各種資格の取得を勧め各人の資質向上を促しております。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内、市高齢協主催の研修に参加を促しスキルアップに努めております。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市内グループホーム部会を年4回開催し事例検討、情報交換、施設見学、研修等を実施しております。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	施設見学をされたときから、家族の方からの情報を聞きながら本人の思い、不安なことなどをさりげなく聞くようにしております。又入所されている方から直接日々の様子を聞いたり、一緒にお茶を飲んだりして安心感を抱いていただけるよう努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学の時から介護されている方の苦勞や悩みを聞き、当ホームでできること、また、実施して欲しいことなど具体的に話し合っていけるよう努めております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス開始時は本人は不安と戸惑いの連続と考え、家族や友人の協力を得て面会を多くしていただいたり外出の機会を多くお願いし、ここにいても安心だと思っただけよう努めております。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人が出来ることや得意なことなどをゆっくり聞き出したり、一緒に生活する中で見い出したりして、徐々にご本人の力が発揮でき他の方々と楽しく共同生活が出来るよう職員は努めておりますが中には職員や入所者を管理したがる方もおります。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族を含めた介護と考えております。面会時にはお互いに状況報告を行い常に状態を共有できるようコミュニケーションを心がけています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近隣の方の入所が多いので、在宅で利用していた併設のデイサービスの催事の際は参加させていただいております。又、友人等が訪問して居室、フロアで談笑する光景がよく見受けられます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の性格、理解の程度などを把握しレクリエーション、体操、散歩等で諍い、孤立者が出ないように配慮しています。利用者同士は、相談する方、相談を受ける方、お世話をする方などそれぞれが自らのできる事を出し合って生活しております。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	法人特別養護老人ホームへ入所になったり、入院になった方には面会を心がけ、退所になられた方にもその後の様子をお聞きしたりしております。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ホームの理念に、本人の思いや行動を止めないとあります。どんな思いがあってもこの行動に出ているのか、ただ行動を制止するのではなく、よく観察し職員間で考えていくよう努めております。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の事前調査で把握を行っていますが、入所後も本人との会話の中からやご家族との話の中からその人らしさを把握するように努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の状態を確認しながら、今日できることを実施できるよう心がけています。又それらの状態は職員間で共有できるよう記録しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご家族とは面会時に意見、要望、本人の希望等を聞くようにしています。それらを把握し担当職員が中心になり職員全員参加でケア会議を行ない介護計画を作成しております。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>生活状況表に本人の行動、表情、感情などを記録します。職員は必ず目を通し日々の様子を把握しています。それらを基に介護計画の見直しを行っております。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人やご家族の状態、状況に合わせて訪問診療、訪問歯科、ボランティア等個別支援に努めています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>毎月ボランティアの訪問をお願いし趣味活動、傾聴の実施を行い地域の方々との交流を深めております。又自治会の運動会、文化祭への出品など地域へ出て行く機会を大切にしています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所前のかかりつけ医を継続しております。身体状況の変化があった場合には連絡表で報告しております。受診が困難になった時期には訪問診療を勧めしております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の体調の変化や行動の変化など職員の観察状況が正確に伝わるよう身体状況表を提出しております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は必ず面会を行い状況把握に努め、家族と今後について、又、ソーシャルワーカーとも退院後について連絡を取るよう努めております。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に看取りは行っていないことを説明、了承を頂いております。重度化に備え法人の特別養護老人ホームへの申し込みを促しており、事業所に対応できる時期についてはその都度、医師家族を交えて話し合っております。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	日々の生活の中で転倒、急変など発生した場合についてユニット会議で話し合いをしております。ほぼ全員が対応できる状態です。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災、地震等の避難訓練を毎月1回実施しております。水、電気、火を止め実施したり他事業所からの応援を得る訓練も行ないます。食料、飲料水等の備蓄も少量ながらしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	認知症介護の基本であるため、ユニット会議では日々の介護の中で言葉かけや行動に問題はないか、気づいたことを話し合い、常に原点に立ち返ることができるよう努めております。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	買い物に行きたい方、散歩に出たい方、台所に立ちたい方などさまざまな思いを行動や言葉で訴えていることを見逃さず、支援することを心がけております。自己決定が困難になってきた方には選択肢を少なくして決定できるよう働きかけております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の一日の行動日程は定めておりますが、その日の過ごし方は、入所の方が起こす訴えや行動で臨機応変に対応するようにしており、天気の良い日に散歩に出たり、買い物希望の方に同行したりしております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服装は本人が選べるよう声かけしながら行うことが多いですが、自分で選ぶことができる方もおります。また、パーマをかけるため家族と美容院に行かれたり、ウィッグをつけている方もおります。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その人ができることを把握し、野菜を切っていただいたり、食後の下膳、食器拭きを行っており、入所者も自分の出来ることがわかっていて、積極的に手伝っていただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取量、摂取状態などは個々の状況表に記録し、又、申し送りにて職員は把握するようにしております。おかゆの方、ミキサー食の方、パン食の方等それぞれの好み、状態に合わせて提供しております。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアへの声かけ、誘導を行い入床時の義歯洗浄を実施しております。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	本人の行動、しぐさで判断し誘導したり、時間で声かけ誘導したり個々に応じた対応を行っております。できるだけ布パンツ対応ができるよう努めております。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘チェックを行い、できるだけ食べ物で排便できるよう、根菜を多くしたり、果物、ヨーグルトなどでジュースを作って提供したりしております。又、日々散歩、体操を実施し個々に応じて階段の昇り降りを行っております。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	週3回の入浴を基本とし、午後に行っているが本人の希望やタイミングにより午前になることもあります。入浴嫌いな方には声掛けを工夫したり、職員を変えたりして良いタイミングをつかめるよう努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体力のない方、足の浮腫が見られる方等は日中に臥床していただいたり、フロアでの居眠り多い方はベッドに案内したり状況に応じて対応しております。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	配薬表を作り誤配薬がないようにしており、与薬時に再確認をしながら行っております。配薬時には処方箋を読み薬の理解をするようにしております。又、服薬等で変化が生じた時は主治医に連絡するようにしております。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の趣味などを把握しその人がいかに楽しんで過ごせるか話し合い、歌、踊り、外出、買い物等楽しみながら生活できるよう支援に努めております。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望又はその日の天候によって外出しておりますが、毎月行事担当が企画し外食、ドライブなどを実施しております。行事日にはご家族、ボランティアの方にも参加していただき繋がりを大切にしております。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族より小遣い程度の金額を預かり、希望に応じて買い物ができるよう支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望により各居室に電話を取り付けることができます。自らかけられない方には、ホームの電話を使って取次ぎを行っております。携帯電話を持っている方もおります。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアーに植物を置き季節感を感じていただけるようにしております。また、温度、音量、照明などはこまめに調整を行い、穏やかに生活していただけるよう努めております。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	座る席は決めていないため気のあった方同士で座れるようにしております。ベランダにベンチを設置してあり利用されるかたもおります。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時ご家族に説明し、馴染みのものを持参されるようお願いしています。家具類のほか、ご家族は自宅に咲いた花や本人のアルバムを持参されたりしています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリーになっており、手すりを取り付けております。トイレ、自身の居室がわかるよう掲示しております。		

事業所名	グループホーム 幸園
ユニット名	たんぼぼ

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>その人らしく穏やかに生活出来る環境づくり。そのために「止めない介護」をホームの理念としています。本人の思いや行動を止められることは混乱や不安を増大させてしまうと考え、できる限り止めない対応で入所者の安定に努めています。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>開かれたホームを目指してボランティアの導入に努めております。また、日々の散歩、買い物でご近所と顔なじみになりご挨拶、お話ができるようになってきております。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>事業所として外部に向けての活動は進みませんが、ホーム見学者の方には認知症対応や相談に応じております。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>ホームのありのままの姿を報告し、介護の現場を理解していただいております。介護保険課、自治会、民生委員、家族の代表の方々からのご意見、情報を頂きながらサービス向上に活かせるよう努めております。</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>運営推進委員会に介護保険課からの出席を頂いておりますのでホームの実情は理解いただいております。又、依頼により実践者研修生の受け入れを行っております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束委員会において具体的事項を話し合い、各ユニットで職員に周知しております。また、事業所理念で「止めない介護」を掲げており、多動時以外は施錠しない等の取り組みを行っております。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束委員会において虐待についても同時に話し合っております。特に言葉のかけ方に注意するよう努めております。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見制度のパンフレットを受付にしております。必要と思われる家族に対しては制度の説明を行い、地域包括支援センターへの相談を勧めております。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>見学時から料金説明、受診等の対応、共同生活の様子など説明を行っております。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時のコミュニケーションを大事にしており、会話の中から要望等を話していただいたり、家族会や行事参加のお茶会を話し合いの場としています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議において職員からの要望、意見を聞くようにしております。また、管理者で解決できない事項は代表者に伝え少しでも改善されるよう努めています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の勤務状態はほぼ把握されております。職員に各種資格の取得を勧め各人の資質向上を促しております。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内、市高齢協主催の研修に参加を促しスキルアップに努めております。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市内グループホーム部会を年4回開催し事例検討、情報交換、施設見学、研修等を実施しております。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	施設見学をされたときから、家族の方からの情報を聞きながら本人の思い、不安なことなどをさりげなく聞くようにしております。又入所されている方から直接日々の様子を聞いたり、一緒にお茶を飲んだりして安心感を抱いていただけるよう努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学の時から介護されている方の苦勞や悩みを聞き、当ホームでできること、また、実施して欲しいことなど具体的に話し合っていけるよう努めております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス開始時は本人は不安と戸惑いの連続と考え、家族や友人の協力を得て面会を多くしていただいたり外出の機会を多くお願いし、ここにいても安心だと思っただけよう努めております。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人が出来ることや得意なことなどをゆっくり聞き出したり、一緒に生活する中で見出ししたりして、徐々にご本人の力が発揮でき他の方々と楽しく共同生活が出来るよう職員は努めております。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族を含めた介護と考えております。面会時にはお互いに状況報告を行い常に状態を共有できるようコミュニケーションを心がけています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近隣の方の入所が多いので、在宅で利用していた併設のデイサービスの催事の際は参加させていただいております。又、年賀状、暑中見舞いのご挨拶、長年通っている理容院に行くなど馴染みの関係を続けております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の性格、理解の程度などを把握しレクリエーション、体操、散歩等で諍い、孤立者が出ないように配慮しています。利用者同士は、相談する方、相談を受ける方、お世話をする方などそれぞれが自らのできる事を出し合って生活しております。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	法人特別養護老人ホームへ入所になったり、入院になった方には面会を心がけ、退所になられた方にもその後の様子をお聞きしたりしております。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ホームの理念に、本人の思いや行動を止めないとあります。どんな思いがあってもこの行動に出ているのか、ただ行動を制止するのではなく、よく観察し職員間で考えていくよう努めております。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の事前調査で把握を行っていますが、入所後は散歩、買い物、入浴時に個人的に話しかけこれまでの生活環境などの把握を行っております。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の状態を確認しながら、今日できることを実施できるよう心がけています。又それらの状態は職員間で共有できるよう記録しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご家族とは面会時に意見、要望、本人の希望等を聞くようにしています。それらを把握し担当職員が中心になり職員全員参加でケア会議を行ない介護計画を作成しております。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>生活状況表に本人の行動、表情、感情などを記録します。職員は必ず目を通し日々の様子を把握しています。それらを基に介護計画の見直しを行っております。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人やご家族の状態、状況に合わせて訪問診療、訪問歯科、ボランティア等個別支援に努めています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>毎月ボランティアの訪問をお願いし趣味活動、傾聴の実施を行い地域の方々との交流を深めております。又自治会の運動会、文化祭への出品など地域へ出て行く機会を大切にしています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所前のかかりつけ医を継続しております。身体状況の変化があった場合には連絡表で報告しております。受診が困難になった時期には訪問診療を勧めしております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の体調の変化や行動の変化など職員の観察状況が正確に伝わるよう身体状況表を提出しております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は必ず面会を行い状況把握に努め、家族と今後について、又、ソーシャルワーカーとも退院後について連絡を取るよう努めております。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に看取りは行っていないことを説明、了承を頂いております。重度化に備え法人の特別養護老人ホームへの申し込みを促しており、事業所に対応できる時期についてはその都度、医師家族を交えて話し合っております。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	日々の生活の中で転倒、急変など発生した場合についてユニット会議で話し合いをしておりほぼ全員が対応できる状態です。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災、地震等の避難訓練を毎月1回実施しております。他事業所からの応援を得ての訓練も行ないます。食料、飲料水等の備蓄も少量ながらしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	認知症介護の基本であるため、ユニット会議では日々の介護の中で言葉かけや行動に問題はないか、気づいたことを話し合い、常に原点に立ち返ることができるよう努めております。年長者であることを意識した言葉かけをしております。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	買い物に行きたい方、散歩に出たい方、台所に立ちたい方などさまざまな思いを行動や言葉で訴えていることを見逃さず、支援することを心がけております。自己決定が困難になってきた方には選択肢を少なくして決定できるよう働きかけております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の一日の行動日程は定めておりますが、その日の過ごし方は、入所の方が起こす訴えや行動で臨機応変に対応するようにしており、天気の良い日に散歩に出たり、買い物希望の方に同行したりしております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服装は本人が選べるよう声かけしながら行うことが多いですが、自分で選ぶことができる方もおります。ご家族が持参された洋服は喜んで着ております。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その人ができることを把握し、野菜を切っていただいたり、食後の下膳、食器拭きを行っており、入所者も自分の出来ることがわかっていて、積極的に手伝っていただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取量、摂取状態などは個々の状況表に記録し、又、申し送りにて職員は把握するようにしております。不足していると思われる方には栄養補助食品、好物品などで補っています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアへの声かけ、誘導を行い入床時の義歯洗浄を実施しております。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	本人の行動、しぐさで判断し誘導したり、時間で声かけ誘導したり個々に応じた対応を行っております。できるだけ布パンツ対応ができるよう努めております。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘チェックを行い、できるだけ食べ物で排便できるよう、根菜を多くしたり、果物、ヨーグルトなどでジュースを作って提供したりしております。又、日々散歩、体操を実施し個々に応じて階段の昇り降りを行っております。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	週3回の入浴を基本とし、午後に行っているが本人の希望やタイミングにより午前になることもあります。入浴嫌いな方には声掛けを工夫したり、職員を変えたりして良いタイミングをつかめるよう努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体力のない方、足の浮腫が見られる方等は日中に臥床していただいたり、フロアでの居眠り多い方はベッドに案内したり状況に応じて対応しております。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	配薬表を作り誤配薬がないようにしており、与薬時に再確認をしながら行っております。配薬時には処方箋を読み薬の理解をするようにしております。又、服薬等で変化が生じた時は主治医に連絡するようにしております。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の趣味などを把握しその人がいかに楽しんで過ごせるか話し合い、歌、踊り、外出、買い物等楽しみながら生活できるよう支援に努めております。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望又はその日の天候によって外出しておりますが、毎月行事担当が企画し外食、ドライブなどを実施しております。行事日にはご家族、ボランティアの方にも参加していただき繋がりを大切にしております。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族より小遣い程度の金額を預かり、希望に応じて買い物ができるよう支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望により各居室に電話を取り付けることができます。自らかけられない方には、ホームの電話を使って取次ぎを行っております。絵手紙等で近況報告を行う方もおります。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアーに植物を置き季節感を感じていただけるようにしております。また、温度、音量、照明などはこまめに調整を行い、穏やかに生活していただけるよう努めております。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	座る席は決めていないため気のあった方同士で座れるようにしております。丸テーブル、長テーブル、ソファを置き座る場所を選べるようになっています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時ご家族に説明し、馴染みのものを持参されるようお願いしています。家具類のほか、ご家族は自宅に咲いた花や本人のアルバムを持参されたりしています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリーになっており、手すりを取り付けております。トイレ、自身の居室がわかるよう掲示しております。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11 (7)	ユニット会議における議題が固定化されつつあるため、その他の大きな課題を見つける姿勢が生じてこない。	マニュアルの見直しを行う。	ユニット会議において、見直すべき点を洗い出し、全職員が周知するマニュアルを作る。	10ヶ月
2	13	職員の勤務年数が長くなっているがマンネリ化する事を防ぐためにも内外の研修回数を多くする必要がある。	現在研修、新任研修を法人内又外部研修に参加できる回数を増し、多くの職員が生き生きと働ける職場とする。	法人研修は、特養、デイと共有して実施する。外部への研修参加数を増員する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。